

市町村長の意見等の検討一覧

No.	分類	関連する取組項目	意見の概要	作業部会	1次検討の結果		2次検討の結果	
					次期ビジョンでの取扱	次期共生ビジョンに向けた意見に対する考え方	次期ビジョンでの取扱	次期共生ビジョンに向けた意見に対する考え方
1	福祉	—	人口の定住のためには福祉が重要であり、福祉関係の有資格者が地域に定住できるような取り組みを進める必要がある。	医療・福祉	3 保留	各市町村での福祉関係の有資格者の人材確保は今後深刻化することが予測される。各市町村での取り組み状況や課題などを共有し、広域での取り組みが可能かどうかを含め、検討する必要がある。	7) 継続協議	各市町村での福祉関係の有資格者の人材確保は今後深刻化することが予測され、各市町村での取り組み状況や課題などを共有し、広域での取り組みが可能かどうかを含め、部会内で検討を進めていきます。
2	教育	1-3-(3) スポーツ大会等の誘致	○管内でのスポーツ大会等の開催情報の提供や誘致活動の協力 帯広市を中心とするスポーツ大会開催時の協力体制の強化やオリンピック選手の輩出や地理的な利便性など本町の優位性が最大限発揮できるよう、引き続き、各市町村と連携を図る。	教育	2 追加しない	現在の定住自立圏の取組項目の中で対応可能なことから、次期ビジョンでは追加しない。文言については、今後整理する。	5) 継続・実施中	定住自立圏の取組目として、スポーツ大会等の開催情報の提供や誘致活動の協力を進めてきており、引き続き、管内各市町村の連携により取り組んでまいります。
3	産業振興	1-4-(6) 農業振興と担い手の育成	やや視点がずれるかもしれませんが、外国人労働者の農業分野への受け入れについてです。農業振興のため、労働力の確保は必須です。現在池田町では個人、生産法人含め4件10名程度が外国人研修生受け入れ制度を活用し、実施または実施予定です。町内JAでは雇用対策や住宅対策を検討しているところです。ただし、受け入れに対する情報は斡旋業者からのみで、公的な情報は少ないと考えられます。協力国への情報提供や情報収集など広域的な取り組みが求められます。また、畑作農家では冬期間の研修が難しく、受け入れを断念する場合もあり、広域での対応が必要となります。	産業振興・地産地消	3 保留	十勝管内における外国人労働者の農業分野への受入については、すでに酪農家を中心とした受け入れが行われているほか、複数の単位農協が監理団体として受入対応を行っている。 管内における畑作農家においては通年での受入対応が困難な状況にあることから、広域での対応の可能性について検討してまいります。	7) 継続協議	管内では、すでに酪農家を中心に外国人労働者の受け入れがあり、複数の単位農協が監理団体として受入対応を行っています。畑作分野における通年受入については、一部の単位農協ではじまってきたことから、今後の取り組みの参考とします。
4	産業振興	1-4-(5) 広域観光の推進	○インバウンドの促進 現行の共生ビジョンの「広域観光の推進」を促進する取組としてインバウンド対策を盛り込み、外国人観光客の誘致や管内共通の外国語での案内看板の設置といった環境整備など、管内が一体となった体制づくりや人材育成等を推進していきたい。	産業振興・地産地消	2 追加しない	インバウンド対策については、管内の各エリアにおいて、広域観光の取り組みを行っている。また、各市町村において、外国語案内看板などの整備を行っているため、追加しない。	5) 継続・実施中	インバウンド対策については、管内の各エリアにおいて、広域観光の取り組みを進めてきており、各市町村において、外国語案内看板などの環境整備も行ってきています。
5	産業振興	1-4-(5) 広域観光の推進	情報通信について、管内にはまだ不感地帯があるため、インバウンドの招聘に合わせ、十勝管内全体で整備を進める必要があると考える。	産業振興・地産地消	2 追加しない	携帯電話の不感地区解消対策については、十勝圏活性化期成会などでも要望していることから、追加しない。	8) 協議対象から除外	携帯電話の不感地区解消対策については、十勝圏活性化期成会などにより、要望を継続していきます。
6	産業振興	1-4-(5) 広域観光の推進	それぞれの自治体の観光資源や情報を十勝としてつながりをもたせ、まとまった形で外部に発信していくためにはどうしたらよいか検討していく必要がある。	産業振興・地産地消	2 追加しない	十勝観光連盟など観光関連団体と連携して、十勝の観光PRを行っているため、追加しない。	5) 継続・実施中	現共生ビジョンの取組目として、観光関連団体と連携した十勝の情報発信を進めており、次期共生ビジョンにおいても取り組みを継続して参ります。
7	産業振興	—	現共生ビジョンにおいて、圏域として市町村が連携すべき取組項目は概ね網羅されていると感じているが、取組内容については情報共有や気運の醸成だけでなく、より具体的な効果(結果)につながる方策等を検討してはどうか。 例)再生可能エネルギーの利用促進(送配電線への接続ルールの確立)等	産業振興・地産地消	2 追加しない	1-4-(2)「フードバレーとかちの推進」に位置付けている「十勝バイオマス産業都市構想」の取り組みにより、豊富な地域資源を活用した自立・分散型エネルギー供給システムの構築に取り組んできました。 平成30年度に実施した「構想の中間見直し」においても新たに明らかとなった課題に対応するべく、再生可能エネルギーの利活用について調査研究等を実施する記述を追加しています。 引き続きバイオマス産業都市構想の推進により、地域の未利用資源を活用した多様な再生可能エネルギーの導入を促進し、個性と魅力ある地域社会の形成を目指します。 また、平成30年10月に、十勝の産学官金11団体により、「十勝バイオガス関連事業推進協議会」を設立したところであり、家畜ふん尿を原料とするバイオガスプラントにより生成した再生可能エネルギーの利活用に関する調査研究や要請活動を行なってまいります。	1) 次期ビジョンに追加	「フードバレーとかちの推進」の取組目の一つとして、バイオマスの利活用の推進を追加し、「十勝バイオマス産業都市構想」に基づき、地域資源を活用した多様な再生可能エネルギーの導入を促進していきます。
8	産業振興	—	自然エネルギーを含め、十勝全体のエネルギーの地産地消について研究を始めてはどうか。20年、30年先を見据えた視点で研究を進めていく必要があるのではないかと。					
9	産業振興	—	補助金の減少や系統接続の問題により、新たなバイオガスプラントの建設が困難な状況となっている。地域にとって必要なものであり、制度改正やモデルケースとしての実現など、環境整備に向けた取り組みを進める必要がある。					

No.	分類	関連する取組項目	意見の概要	作業部会	1次検討の結果		2次検討の結果	
					次期ビジョンでの取扱	次期共生ビジョンに向けた意見に対する考え方	次期ビジョンでの取扱	次期共生ビジョンに向けた意見に対する考え方
10	地域公共交通	2-1-(1) 地域公共交通の維持確保と利用促進	交通ネットワークについて、生活圏と商業圏を含め、多様な足の確保を考える必要があるのではないか。例えば、帯広市と町村間のバスを快速にすることや、タクシーの利用など。	企画	2 追加しない	現在も十勝地域生活交通確保対策協議会及び各分科会において、公共交通の確保・維持対策について協議が行われているところであり、具体的な方策、取り組みについては引き続き同協議会及び分科会の中で検討を進めてまいります。	8) 協議対象から除外	現在も十勝地域生活交通確保対策協議会及び各分科会において、公共交通の確保・維持対策について協議が行われているところであり、具体的な方策、取り組みについては引き続き同協議会及び分科会の中で検討を進めてまいります。
11	人材育成	—	○性的マイノリティ(LGBT)に対する理解の深化 LGBTに関する認識やLGBTの方々が抱える課題について、十勝全市町村一体となって共通理解を図りながら適切に対応するため、圏域内での職員研修を通じて性的マイノリティへの理解を深める。	人材育成	2 追加しない	「性的マイノリティ(LGBT)に対する理解」を市町村職員として深めることは必要であるが、共生ビジョンの取り組み項目としてではなく、既存の管理職員研修や監督職員研修などの指名研修実施内容の調整により対応することを検討していきたい。	5) 継続・実施中	「性的マイノリティ(LGBT)に対する理解」を市町村職員として深めることは必要であると考えており、合同研修において既に取り組みを実施しています。
12	その他	—	シビックプライド(郷土愛)醸成に向けた取組について記載してはどうか。	幹事会(教育)	2 追加しない	帯広市の市民大学講座において、地域に関する理解を促進し、郷土愛の醸成につなげる取り組みを進めています。今後とも、管内住民の受講環境を確保してまいります。	5) 継続・実施中	帯広市の市民大学講座において、地域に関する理解を促進し、郷土愛の醸成につなげる取り組みを進めています。今後とも、管内住民の受講環境を確保してまいります。